

オーバーシー・チャイニーズ銀行(OCBC)

物価指数は当面高水準見通しでNIMへ追い風。生命保険の強さを生かしたウエルス・マネジメントとインドネシアで成長
シンガポール | 銀行 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG OCBC:SP | REUTERS OCBC.SI

- 2024/12期1Q（1-3月）は、総収益が前年同期比8.2%増、純利益が同5.5%増。純金利収益が同4.2%増、非金利収益が同17.5%増と堅調。
- 純金利マージン（NIM）は縮小も貸出が伸長。金融当局は4月に4回連続の金融政策維持、かつ物価指数上昇率は当面高水準見通しとしている。
- 銀行と生命保険の両部門でウエルス・マネジメント管理資産および収益の拡大に加え、インドネシアの銀行買収で成長市場攻略への舵を切る。

What is the news?

5/10発表の2024/12期1Q（1-3月）は、総収益が前年同期比8.2%増の36.26億SGD、純利益が同5.5%増の19.82億SGD。経費率が同横ばいの37.1%、貸倒損失引当金繰入額が同53.6%増の1.69億SGD、関連会社からの持分法投資利益が同1.9%減の1.69億SGDだった。純金利マージン（NIM）低下も貸出増でカバーした。主に非金利収益の拡大が増収・最終増益を牽引した。前四半期比では、総収益が10.8%増、純利益が22.2%減、3月末不良債権比率（NPL）が横ばいの1.0%だった。

1Q総収益の内訳は以下の通り。①純金利収益は前年同期比4.2%増の24.37億SGD。NIMが同0.03ポイント低下の2.27%となったものの3月末貸出残高が同2.4%増と伸びた。②非金利収益は同17.5%増の11.89億SGD。その内、主力の手数料・コミッション収益が同5.7%増の4.79億SGDに加え、生命保険・損害保険からの収益が同21.4%増の2.89億SGD、トレーディング収益が同45.1%増の3.70億SGDと全般的に堅調だった。

How do we view this?

通期会社計画は、期末貸出残高伸び率が前期比1桁台前半、純金利マージン（NIM）が2.20-2.25%、信用コスト（1bpsが0.01%）が20-25bps（1Q実績：16bps）と、1Q実績は概ね会社計画を上回って進捗している。

シンガポール通貨金融庁（MAS）は4/12、これまでの金融政策を維持すると発表。2023年4月以降、連続4回目の維持となった。消費者物価指数（総合）から住宅関連費と自家用道路交通関係費を除いた「MASコアインフレーション指数」は当面高水準で推移としている。OCBCにとってはNIMの水準維持が見込まれ、純金利収益の底堅い推移が期待される。

同行はウエルス・マネジメント関連業務の管理資産額が3月末で前年同期比1%増の2730億SGDに拡大。銀行と生命保険の両部門からのウエルス・マネジメント収益が同19%増の12.89億SGDと伸長。DBSホールディングスやユナイテッド・オーバーシーズ（UOB）といったライバル行と比べた特徴・強みとして、傘下に同国の生命保険業界首位のグレート・イースタン・ホールディングスを擁する。シンガポールの生命保険は、返戻金の払込み保険料総額に対する比率（返戻率）が相対的に高く、世界の富裕層を中心に投資・運用目的で高い注目を集める。

5/1、子会社のOCBCインドネシアを通じてインドネシアのPTコモウェル銀行の買収（約214億円）を完了と発表。東南アジア最大人口の成長市場で足場を強化方針。成長原動力となるエンジンとして期待される。

業績推移

※参考レート 1SGD=116.53円

事業年度	2021/12	2022/12	2023/12	2024/12F	2025/12F
純利益(百万SGD)	4,858	5,526	7,021	7,310	7,388
EPS(SGD)	1.07	1.22	1.55	1.63	1.64
PER(倍)	13.55	11.89	9.35	8.90	8.84
BPS(SGD)	11.72	11.37	12.05	12.76	13.47
PBR(倍)	1.24	1.28	1.20	1.14	1.08
配当(SGD)	0.53	0.68	0.82	0.86	0.88
配当利回り(%)	3.66	4.69	5.66	5.93	6.07

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

 配当予想 (SGD) **0.86** (予想はBloomberg)
 終値 (SGD) **14.50** 2024/5/28

会社概要

1932年に3つの国内銀行が合併し設立。銀行、生命保険、損害保険、資産管理、投資保有、先物・株式仲介の事業を行う。5つの事業セグメントを通じて運営する。

①グローバルコンシューマー/プライベートバンキングセグメントは、個人顧客に製品とサービスを提供する。

②グローバルコーポレート/インベストメントバンキングセグメントは、大企業や公共部門から中小企業までの機関顧客にサービスを提供する。

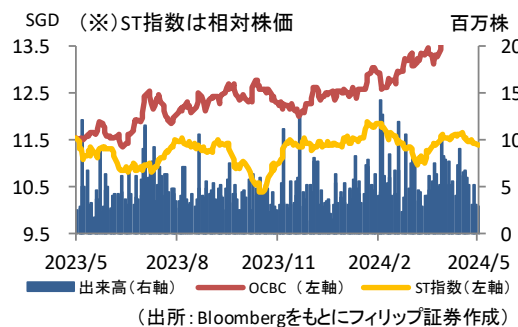
③グローバルレジャー・アードマーケットセグメントは、外国為替活動、マネーマーケットオペレーション、債券およびデリバティブ取引を行い、ストラクチャードレジャー商品および金融ソリューションを提供する。

④上場企業のグレート・イースタン・ホールディングスが担う保険セグメントは、生命保険と一般保険を提供する。

⑤OCBC Wing Hangセグメントは、各商業銀行と関連金融サービスを提供する預金、法人・個人向け融資、投資銀行、プライベートバンキング、国際貿易金融、アセットマネジメント、株式注文取次、保険などのサービスを提供する。

企業データ (2024/5/29)

ベータ値	0.99
時価総額(百万SGD)	64,794
企業価値=EV(百万SGD)	-
3ヵ月平均売買代金(百万SGD)	79.3



主要株主 (2024/5) (%)

1.SELAT PTE LTD	14.43
2.LEE FOUNDATION SINGAPORE	4.21
3.VANGUARD GROUP	3.03

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
 +81 3 3666 6980
 kazuhito.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。